

大川内山

(佐賀県伊万里市)

注目ポイント！

焼き物・歴史・景観を活かした観光地づくり。
窯業組合・地元住民・行政が一体となり観光振興を図る。



観光客数が約139万人から約175万人に！
(平成元年) (平成17年)



大川内山の風景

コラム

先人たちが築き上げた「鍋島」の伝統を受け継ぎながらも、それぞれの窯元が独自の持ち味を出しながら作陶に取り組んでいる。是非、大川内山へ来てもらい、景観もさることながら、現代の伊万里焼を見て欲しい。



伊万里鍋島焼協同組合
理事長 瀬戸口 壽司氏

これまでの経緯

- 昭和50年(1975) 春の窯元市が開催される。
- 昭和59年(1984) 藩窯秋祭りが開催される。
- 平成元年(1989) 献上の儀が開催される。
- 平成3年(1991) 秘窯の里・大川内山景観整備事業を実施する。
- 平成7年(1995) 日本観光協会の優秀観光地づくり賞を受賞する。
- 平成8年(1996) 「伊万里の焼物の音」が残したい日本の音風景100選に選ばれる。
「秘窯の里」が手づくり郷土賞を受賞する。
- 平成9年(1997) 日本観光協会の日本観光ポスターコンクール賞を受賞する。
- 平成14年(2002) 「伊万里焼土と炎のかおり」がかおり風景100選に選ばれる。
- 平成16年(2004) 大川内鍋島窯跡が国史跡指定を受ける。
風鈴祭りが開催される。
- 平成17年(2005) 磁器ひなまつりが開催される。
- 平成18年(2006) 観光ボランティアが発足する。

主な取り組み

春・秋の窯元市

30数件の窯元が立ち並ぶ大川内山では、各窯元が一体となった「大川内山振興協議会」が、毎年春と秋に、春の窯元市・藩窯秋祭りとして陶器市を開催。

お気に入りの焼き物が格安で手に入るため、この時期は大勢の焼き物ファンが来訪。

春の窯元市



献上の儀

「大川内山振興協議会」では、藩窯秋祭りの一つとして「献上の儀」を開催。窯元たちは、先人たちが築き上げた技術を再現しながら、世界に一つしかない焼物を全て手作業で製作。当日関係者は袴姿に身を包み、かつての将軍家等への献上の模様を再現し、本市と縁のある自治体へ赴き、「献上の儀」という形で焼物を贈呈し親交を強化。



献上の儀



磁器ひな

ひな祭り

鍋島焼には、白磁に藍色の絵の具だけで描く「染付け」、染付けに赤・黄・緑で絵付けをした「色絵」、深い青緑色の釉薬を使った「青磁」の3種類があり、これに各窯元独自に絵柄をつけ焼物が作られる。

春にはその各窯元オリジナルの磁器ひなが作られ、春の訪れを感じながら散策ができる。

風鈴祭り

大川内山では夏、各窯元オリジナルの絵付けによる風鈴が軒を飾り、透明感溢れる風鈴の音色を創出。各窯元の軒先では、直径約20cmもの風鈴が、来訪者を出迎え。



風鈴祭り

観光ボランティアガイド

大川内山は山水画を思わせる大屏風岩に囲まれた中に歴史ある窯元が立ち並ぶ風情ある観光地。今年4月からは、ふるさと伊万里を愛する市民による観光ボランティアガイドが発足。「秘窯の里大川内山」や「伊万里市街地」をお勧めコースに熱心な案内を展開。



ボランティアガイド

問い合わせ先

佐賀県伊万里市商工観光課観光係

Tel : 0955-23-2110

<http://www.city.imari.saga.jp>